

Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021
【受賞者のプロフィール等】

風間 サチコ (かざま さちこ)

伝統的な技法である木版を中心に作品を発表

1972年東京都生まれ。東京都在住。1996年武蔵野美術学園版画研究科修了。

○主な活動

「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作。一つの画面に様々なモチーフが盛り込まれ構成された木版画は漫画風でナンセンス、黒一色のみの単色でありながら濃淡を駆使するなど多彩な表現を試み、彫刻刀によるシャープな描線によってきわどいテーマを巧みに表現する。

○主な展覧会等

「ディスリンピア2680」(原爆の図丸木美術館、埼玉、2018)
 「The Long Story」(クイーンズランド州立美術館、ブリスベン、オーストラリア、2018)
 「ヨコハマトリエンナーレ2017」(横浜美術館、神奈川、2017)
 「光州ビエンナーレ2016」(光州、韓国、2016)
 「2015 Asian Art Biennial: Artist Making Movement: 」(国立台湾美術館、台中、台湾、2015) など
 受賞歴に、2016年「第8回創造する伝統賞」など。



《獲物は狩人になる夢を見る》

木版画(パネル、和紙、墨)、2016 撮影:宮島径

© KAZAMA Sachiko Courtesy of MUJIN-TO Production

下道 基行 (したみち もとゆき)

写真や映像を中心に作品を発表

1978年岡山県生まれ。愛知県在住。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。

○主な活動

日本各地に残る戦争遺構を調査撮影したシリーズ『戦争のかたち』(2001-2005)、自らの祖父の遺した絵画を追って旅したシリーズ『日曜画家』(2006-2010)や、日本の国境線の外側を旅し日本植民地時代の遺構の現状を調査するシリーズ『torii』(2006-2012)など。旅やフィールドワークをベースにした制作活動を続けている。

○主な展覧会等

「MOVING STONES」(KADIST、パリ、2018)
 「Our Daily Our Border」(大館現代美術館、香港、2018)
 「光州ビエンナーレ2018」(光州、韓国、2018)
 「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.07」(高松市美術館、香川、2018)
 「MOTサテライト」(清澄白河周辺[東京都現代美術館主催]、2017) など
 受賞歴に、2012年「光州ビエンナーレ2012」NOON芸術賞(新人賞)など。
 2019年「第58回ヴェネチア・ビエンナーレ」の日本館展示への参加が決定している。



《津波石》

ビデオ、2015-